

令和3年度 西紋地区ホタテガイ採苗情報(No.18)

令和3年6月2日

網走西部地区水産技術普及指導所

6月1日に紋別海域で行った浮遊幼生調査の結果をお知らせします。

引き続き付着サイズ(250 μm以上)が多数出現。

◎浮遊幼生調査結果(表1, 図1)

ホタテ幼生の出現状況は下記のとおりです(免疫染色法による)。

【紋別】水深 20m 130~320 μm 356.5 個/トッ (他二枚貝 338.1 個/トッ)

130 μmから 320 μmまでほぼ連続して出現しています。全体の出現数も多く、付着サイズ(250 μm以上)の出現数は106.1 個/トッでした(前回 128.7 個/トッ)。また、140~150 μm台に大きな後続群が確認されました。

◎環境調査結果(表2)

水温は 8.7~9.0°C、塩分は表面(0m)以外は 33psu 台でした。

サンプル海水は大型の動物プランクトンが主体で透明でした。

表1 浮遊幼生調査結果

		紋別(20m)	
		6月1日	
ホ タ テ ガ イ	殻長	20m1回曳き	個/トッ
	130-	6	4.2
	140-	114	80.6
	150-	138	97.6
	160-	10	7.1
	170-	8	5.7
	180-	2	1.4
	190-	12	8.5
	200-	16	11.3
	210-	10	7.1
	220-	12	8.5
	230-	10	7.1
	240-	16	11.3
	250-	32	22.6
	260-	30	21.2
	270-	26	18.4
	280-	30	21.2
	290-	20	14.1
	300-	10	7.1
	310-		
320-	2	1.4	
計		504	356.5
その他二枚貝		478	338.1

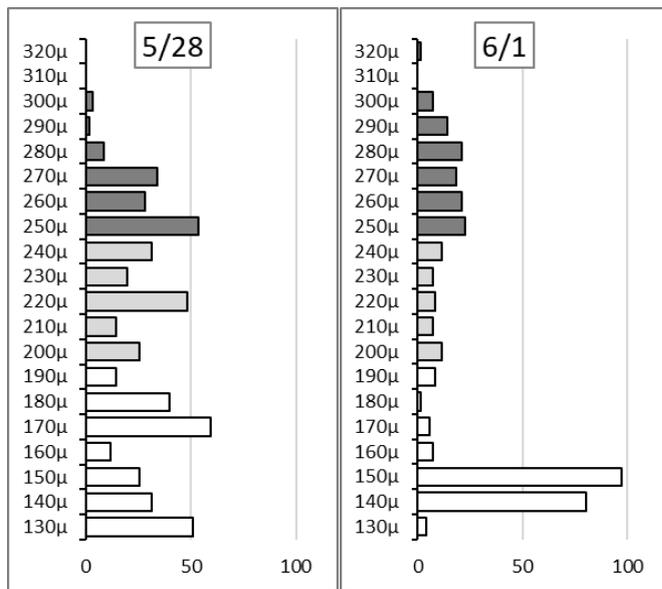


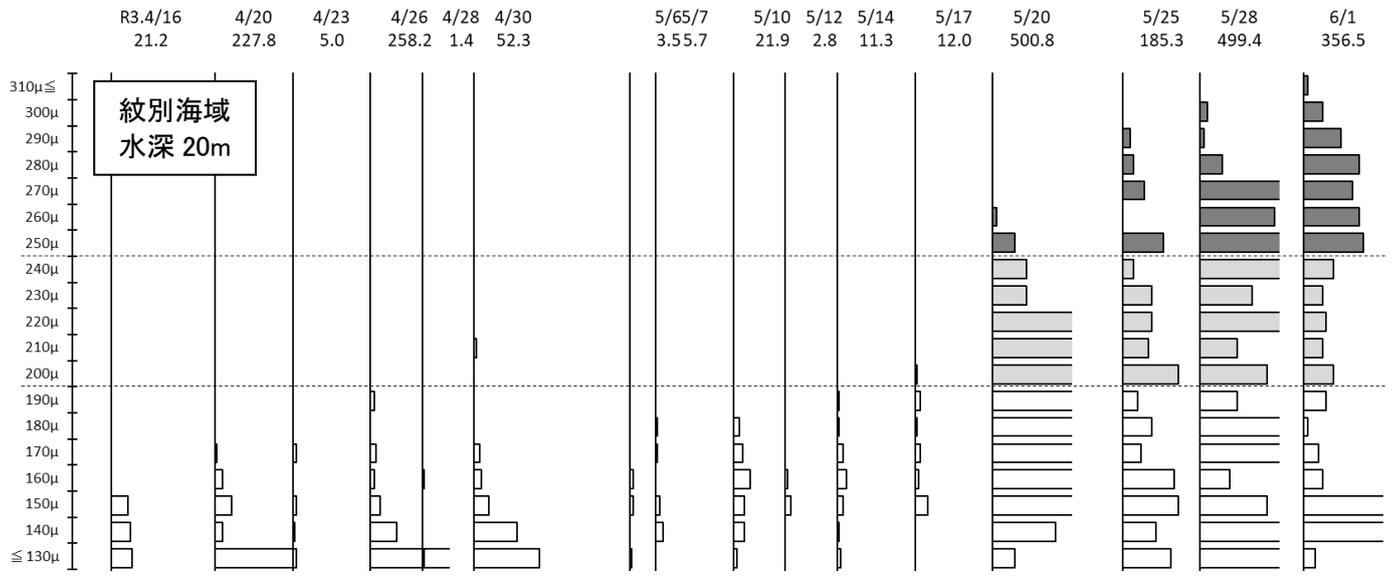
図1 5/28 および 6/1 ホタテ幼生出現数(個/トッ)

表2 環境調査結果

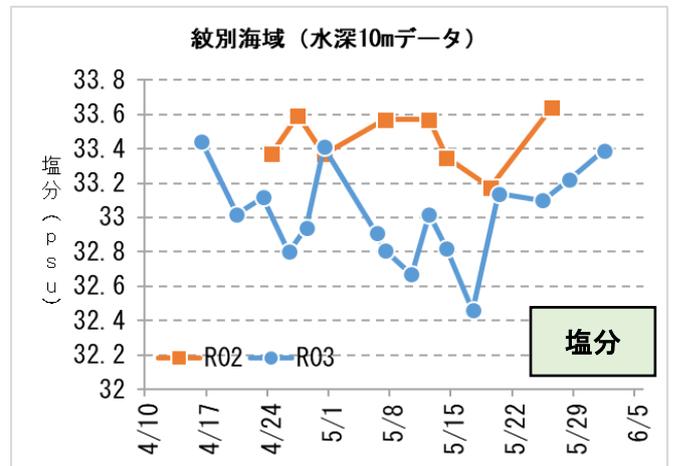
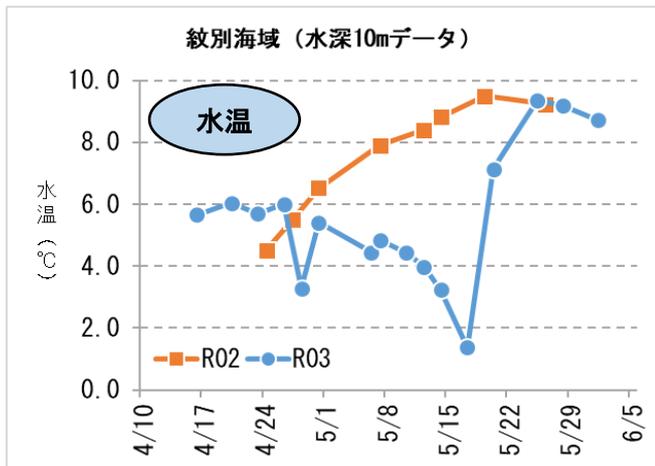
深度 m	20m	
	水温 °C	塩分psu
0	9.0	30.97
5	8.7	33.37
10	8.7	33.39
15	8.7	33.40
20	8.7	33.40
底	8.7	33.40

底: 21.8m

◎殻長組成の推移(単位:個/トシ 表示:0~30個/トシ)



◎水温および塩分の推移



◎他地区の情報(浮遊幼生調査)

地区	調査日	ホタテ幼生			その他二枚貝	備考
		個/トシ	サイズ	モード		
羽幌	5/31	平均 10.1 (9.9~10.3)	160~330	270~280	平均 58.6 (36.8~80.3)	ホタテ幼生の出現数減少 付着サイズ中心に出現
苫前	5/31	平均 5.7 (3.5~7.8)	170~330	230, 270	平均 65.3 (31.5~99.0)	

◎今後の調査予定(浮遊幼生調査) 紋別地区 (未定)